

市政ニュース 速報版

2015年9月24日 日本共産党 岡山市議団 NO. 205
岡山市北区大供1-1-1 086-803-1707

戦争法廃止を岡山からも！

9月市議会閉会 マイナンバー、戦争法で河田・林議員が討論

岡山市議会は24日、地方創生関連の一般会計補正予算など39議案と3陳情を採択して閉会しました。党市議団は、マイナンバー関連で4議案に反対しました。また、安保法制の慎重審議を求める陳情の採択を主張しました。陳情は賛成14（共産、市民、創政）対反対31（自民、公明、諸派）で否決されました。創政会は、安保法制の陳情について6月議会では賛否が分かれていましたが、今回は6人全員が賛成しました。

マイナンバー関連の議案について、党市議団の河田正一議員は、「市民や中小業者の負担が増える一方、情報流出は完全には防げず、中止するべきだ」と反対討論しました。

安保法制の慎重審議を求める陳情に対して林潤議員は、国会での議論を具体的に紹介して戦争法の本質を明らかにし、「立憲主義と民主主義を取り戻そう」と呼びかけて、議会人として法制への賛否を問わず「慎重審議を」の声をあげるべきと討論しました。

陳情に反対した自民、公明議員が持ち出した「根拠」は林潤議員が崩したことばかりで、説得力の感じられないものでした。



討論に立つ党
市議団の
←河田議員
林潤議員→

市議会では10月に入ると26年度決算を審査する特別委、11月30日からは次の定例市議会が開かれます。党市議団は、市民の声を市政に届け、市政をきちんとチェックする役割を果たすべく、引き続き奮闘します。